

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 231 事業名 障害者各種講座委託事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	2	障害のある人の自立と社会参加の推進
基本方針	1	社会活動への参加促進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	松村 維人 (435-1060)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	民生費	
	項	社会福祉費	
	目	障害者総合支援費	
	大事業	障害者総合支援事業	
事項	障害者各種講座委託事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	身体障害者が教養・技術を高め、社会生活をゆとりのあるものとする。	肢体障害者教育講座・肢体障害者療育講座、視覚障害者教養講座、聴覚障害者教養講座、重症心身障害児者療育講座の開催を委託する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		延べ参加者数 118人	延べ参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	108	108	108		108		108		108	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,302	2,302	2,302	2,302		2,302		2,302	
	非常勤職員	0	0	0	0		0		0	
	小計	2,302	2,302	2,302	2,302		2,302		2,302	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	108	108	108		108		108		108	
所要人数	常勤職員	0.31	0.31	0.31	0.31		0.31		0.31	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳	障害者各種講座委託料									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	講座開催数	年度目標値			4	4	4	4	4
		実績値			4				
	単位	全体目標値			100.0%				
		全体目標達成度							
成果指標	延参加者数	年度目標値			250				
		実績値			118				
	単位	全体目標値			53.4%				
		全体目標達成度			47.2%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	身体障害者等が教養・技術を高め、ゆとりのある社会生活を送るために必要である。。
「見直し」 「改善」案	現状のまま維持継続